

認定所得金額は、提出いただく書類をもとに教育委員会事務局で算定します

奨学生申込資格に関する所得基準

- 1 募集要項に定める申込資格のうち所得に関しては、本人と生計を一にする世帯員の1年間の認定所得金額が別表1の所得基準額以下であることが必要です。

別表1 収入基準額

区 分		所得基準額
世帯人員	2人	282 万円
	3人	328 万円
	4人	355 万円
	5人	382 万円
	6人	402 万円
	7人	422 万円
	8人	442 万円

(備考)
世帯人員が8人を超える場合は、1人増すごとに20万円を世帯人員8人の所得基準額に加算する。

- 2 前項の認定所得金額とは、本人と生計を一にする世帯員個人ごとに、1年間の総収入金額を次の(ア)、(イ)により計算した所得金額(A)の合計額から、別表2の特別控除額(B)を控除した金額をいう。

所得金額 (A)

(ア) 給与所得の場合

年間総収入金額	給与所得金額
329万円以下の場合	0円
330万円以上400万円以下の場合	収入金額×0.8－263万円
401万円以上878万円以下の場合	収入金額×0.7－223万円
879万円以上の場合	収入金額－486万円

(注) 万円未満は切り捨て。

(注) 年間総収入金額は「所得額等証明書」に記載の給与収入額とする。

(イ) 給与所得以外の場合

営業等所得、農業所得、雑所得（公的年金等）については、「所得額等証明書」に記載の所得金額とする。

別表2

特別控除額表

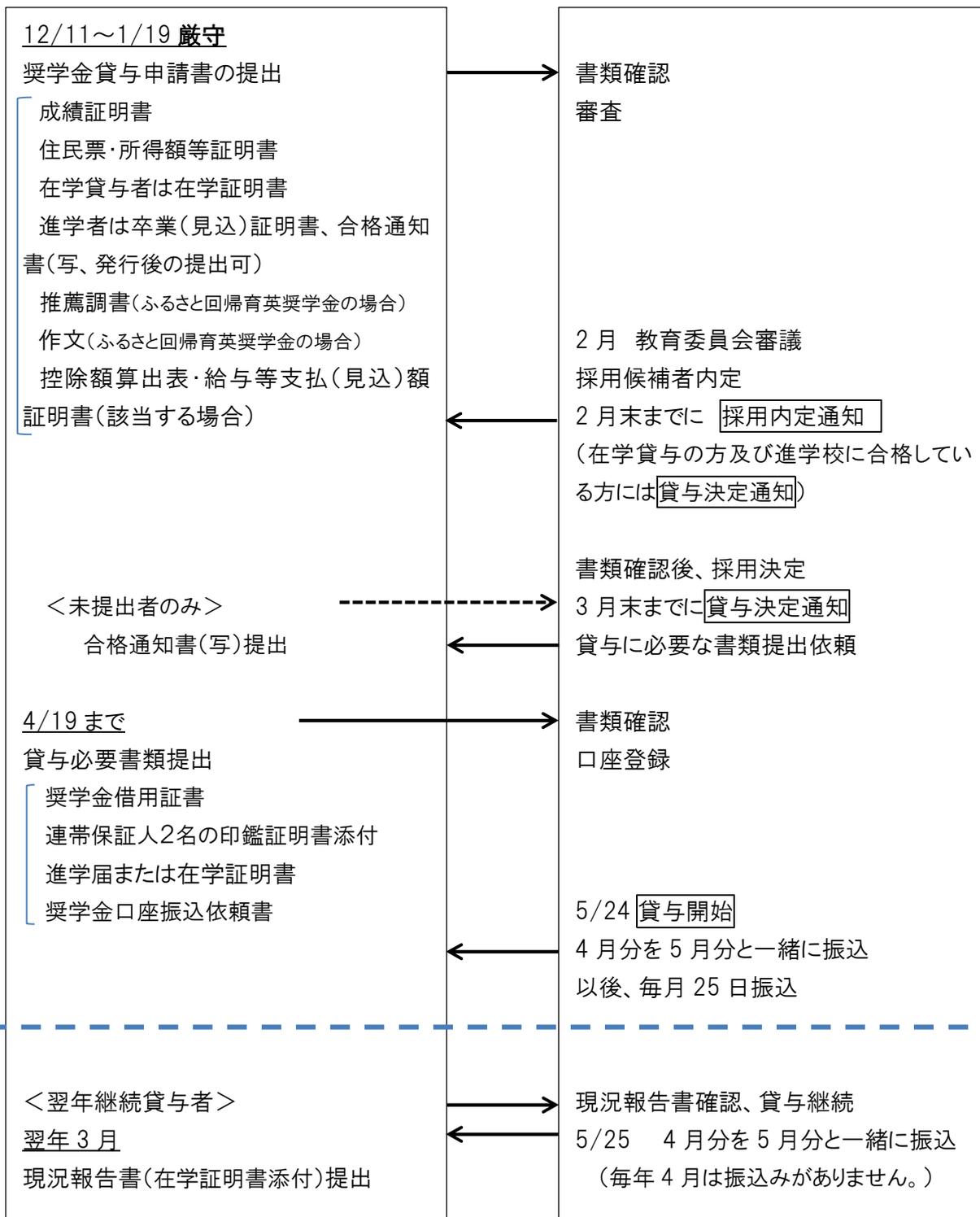
区分	特別の事情	特別控除額 (B)			
(a) 世帯を 対象と する 控除	(1) 母子・父子家庭である こと。	49万円			
	(2) 就学者のいる世帯で あること。 (児童・生徒・学生1人につき) ※申込者本人を除く	小学校	8万円		
		中学校	16万円		
			自宅通学	自宅外通学	
		高等学校	28万円	47万円	
		高等専門学校	36万円	55万円	
		大 学	国・公立	59万円	102万円
			私 立	101万円	144万円
		専修学校	国・公立	22万円	62万円
	私 立		72万円	112万円	
(3) 障害者のいる世帯で あること。	障害者1人につき (障害者手帳の写しなどの証明書類必要) 86万円				
(b) 本と 人す をる 対控 象除	予約採用(令和6年4月に 進学を予定する学生が、奨 学金貸与を申請する場合)	(1) 高等学校等に進学する予定である 場合	28万円		
		(2) 大学、短期大学又は専修学校に進学 する予定である場合	59万円		
	在学採用(すでに在学して いる学生が、奨学金貸与を 申請する場合)	本表「(a)世帯を対象とする控除」の(2)欄で、該当す る学校及び通学区分に記載されている金額			

- 備考 1 (a)欄の「(2)就学者のいる世帯であること」の控除は、申込者本人を除く世帯員を対象とする控除である。該当する場合は控除額算出表を提出すること。
- 2 (b)欄は、申込者本人のみを対象とした控除である。
- 3 該当する特別な事情が2以上ある場合は、それらの控除額をあわせて控除することができる。

奨学金貸与手続きの流れ

申請者

教育委員会事務局



問い合わせ

〒946-8601 魚沼市小出島910番地 (本庁舎3階)

魚沼市教育委員会事務局 学校教育課 奨学金担当

電話 : (025)793-7452 FAX : (025)792-1261

E-mail gakkokvoiku@city.uonuma.lg.jp

所得額等証明書

魚 沼 市 長 様

申請者(奨学生の保護者)

住 所

氏 名

奨学生氏名

魚沼市奨学金及び魚沼市ふるさと回帰育英奨学金貸与申請書類として、奨学生と生計を一にする世帯員の令和5年度（令和4年分）の収入額、所得額を証明願います。

(申請方法) 太枠内に、世帯員のうち証明の得られる方全員の氏名、生年月日を記入し、税務課（本庁舎1階）又は北部事務所、北部事務所入広瀬分室窓口で証明を受けてください。

氏 名	生年月日	奨学生から 見た続柄	給与収入額	公的年金 所得額	左記以外の 所得額
	大 昭 平 年 月 日		円	円	円
	大 昭 平 年 月 日		円	円	円
	大 昭 平 年 月 日		円	円	円
	大 昭 平 年 月 日		円	円	円
	大 昭 平 年 月 日		円	円	円
	大 昭 平 年 月 日		円	円	円
	大 昭 平 年 月 日		円	円	円
	大 昭 平 年 月 日		円	円	円

上記のとおり相違ないことを証明します

令和 年 月 日

魚沼市長 内 田 幹 夫 印

控除額算出表

この表は、認定所得金額を算定する際の特別控除額のうち、「(a)世帯を対象とする控除額」を決定するために必要となるものです。

あなたの世帯に該当する項目がありましたら、必要事項を記入のうえ、申請書に添付してください。

申請者（奨学生）氏名： _____

(1) 母子・父子 家庭である

※該当する場合は、どちらかを○で囲んでください。

(2) 就学者のいる世帯である（現時点での状況を記入してください。）

同一生計の就学者	続柄 ※1	氏名	学 校 情 報		学年 ※2	通学別 (該当する方に○) ※3
			公・私立の別	学 校 名		
						自宅・自宅外
						自宅・自宅外
						自宅・自宅外
						自宅・自宅外
						自宅・自宅外

※1 続柄は申請者（奨学生）からみた関係を記入してください。

※2 就学している学校が、予備校、防衛・海上保安大学校、職業訓練校の場合は記入しないでください。

※3 自宅外とは自宅を離れ、アパート等から通学している場合をいいます。

(3) 障害者のいる世帯

該当の場合、その人数 _____ 人

※ 障害者手帳の氏名、住所、級種がわかる部分をコピーして添付してください。

控除額算出表

記入例

この表は、認定所得金額を算定する際の特別控除額のうち、「(a)世帯を対象とする控除額」を決定するために必要となるものです。

あなたの世帯に該当する項目がありましたら、必要事項を記入のうえ、申請書に添付してください。

申請者（奨学生）氏名： 魚沼太郎

(1) 母子・父子 家庭である

※該当する場合は、どちらかを○で囲んでください。

(2) 就学者のいる世帯である（現時点での状況を記入してください。）

同一生計の就学者	続柄 ※1	氏名	学校情報		学年 ※2	通学別 (該当する方に○) ※3
			公・私立の別	学校名		
	弟	魚沼 次郎	公立	小出中学校	3	自宅・自宅外
	姉	魚沼 市子	私立	東京デザイン専門学校	1	自宅・自宅外
						自宅・自宅外
						自宅・自宅外
						自宅・自宅外

※1 続柄は申請者からみた関係を記入してください。

※2 就学している学校が、予備校、防衛・海上保安大学校、職業訓練校の場合は記入しないでください。

※3 自宅外とは自宅を離れ、アパート等から通学している場合をいいます。

(3) 障害者のいる世帯 該当の場合、その人数 _____ 人

※ 障害者手帳の氏名、住所、級種がわかる部分をコピーして添付してください。

